

## 安全データシート

作成日 2022年 3月 11日

改訂日 2023年 2月 28日

## 1. 製品および会社情報

製品名 チームデミ用液体のり  
品番 TD-001 / TD-001GL  
コード 30-210 / 30-211 / 30-212 / 30-213 / 31-410 / 31-411 / 31-412 / 31-413  
会社名 プラス株式会社  
住所 〒105-0001 東京都港区虎ノ門4-1-28虎ノ門タワーズオフィス12階  
担当部門 CSR本部 品質保証部  
緊急連絡電話番号 03-5860-8005  
FAX番号 03-5860-8013  
E-Mail env\_psc@plus.co.jp  
整理番号 G05B2826  
推奨用途及び  
使用上の制限 紙用のり

## 2. 危険有害性の要約

## GHS分類

物理化学的危険性 : 分類できない  
健康に対する有害性 : 分類できない  
環境に対する有害性 : 分類できない

## ラベル要素

絵表示又はシンボル : なし  
注意喚起語 : なし  
危険有害性情報 : なし  
注意書き : なし

## 3. 組成及び成分情報

単一製品・混合物の区分 : 混合物

## 成分及び含有量

成分名	CAS No.	含有量 (wt%)	官報公示整理番号 (化審法、安衛法)
デンプン分解物	非開示	約 60	-
添加剤	非開示	約 10	-
水	7732-18-5	約 30	-

## 4. 応急措置

吸入した場合 : 直ちに空気の新鮮な場所へ移動し、安静、保温に努め、頭痛等の異常があれば速やかに医師の診断を受ける。

皮膚に付着した場合 : 多量の水、又は石鹼水で洗い流す。  
炎症を生じたら医師の手当てを受ける。

眼に入った場合 : 流水で15分以上洗浄し、必要に応じて医師の手当てを受ける。

飲み込んだ場合 : 水で口の中をよく洗い、直ちに医師の診断を受ける。

---

## 5. 火災時の措置

適切な消火剤	: 水、強化液、泡、粉末
使ってはならない消火剤	: データなし
特有の危険有害性	: データなし
特有の消火方法	: データなし
消火方法	: 火元への燃焼元を断ち、消火剤を使用して風上から消化する。
消火活動を行う者の特別な保護具及び予防措置	: 消火作業の際は、空気呼吸器を含め防護服（耐熱性）を着用する。

---

## 6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具および緊急措置	: 作業の際は適切な保護具（保護手袋等）を着用する。
環境に対する注意事項	: 流出した製品が河川等に排出され、環境への影響を起こさないように注意する。
封じ込め及び浄化方法・機材	: 漏洩物を空容器に回収し、更にウエス等に吸収させ回収する。

---

## 7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い	
技術的対策	: 技術的な注意を必要としない。
保管	
保管条件	: 直射日光を避け、屋内で保管する。 使用後は密閉して貯蔵する。

---

## 8. 暴露防止及び保護措置

管理濃度	: 未設定
許容濃度	: 未設定
設備対策	: 特に必要としないが、換気の良い場所が好ましい。
保護具	
呼吸用保護具	: 特に必要としない。
手の保護具	: 特に必要としないが、保護手袋を着用するのが好ましい。
眼の保護具	: 特に必要としない。
皮膚及び身体の保護具	: 特に必要としない。

---

## 9. 物理的及び化学的性質

物理的状态	: 液体
色	: 微黄色透明
臭い	: データなし
融点／凝固点	: データなし
沸点、初留点及び沸騰範囲	: 約 100°C
可燃性	: データなし
爆発下限界及び上限界、	: データなし

可燃限界	
引火点	: データなし
自然発火点	: データなし
分解温度	: データなし
pH	: データなし
動粘性率	: データなし
溶解度	: 水で無限大に希釈可能
n-オクタノール、	: データなし
水分配係数	
蒸気圧	: データなし
密度及び／又は相対密度	: 1.3
相対ガス密度（空気＝1）	: データなし
粒子特性	: データなし

10. 安定性及び反応性

反応性	: 通常の手扱い条件においては安定。
化学的安定性	: 通常の手扱い条件においては安定。
危険有害反応可能性	: データなし
避けるべき条件	: データなし
混触危険物質	: データなし
危険有害な分解生成物	: データなし

11. 有害性情報

急性毒性（経口）	: データなし
急性毒性（経皮）	: データなし
急性毒性（吸入：ガス）	: データなし
急性毒性（吸入：蒸気）	: データなし
急性毒性（吸入：粉じん）	: データなし
皮膚腐食性・刺激性	: データなし
眼に対する重篤な損傷・刺激性	: データなし
呼吸器感作性	: データなし
皮膚感作性	: データなし
生殖細胞変異原性	: データなし
発がん性	: データなし
生殖毒性	: データなし
特定標的臓器・全身毒性 （単回ばく露）	: データなし
特定標的臓器・全身毒性 （反復ばく露）	: データなし

誤えん有害性 : データなし

---

## 12. 環境影響情報

生態毒性 : データなし

残留性・分解性 : データなし

生体蓄積性 : データなし

土壤中の移動性 : データなし

オゾン層への有害性 : データなし

---

## 13. 廃棄上の注意

残余廃棄物 : 廃棄においては、関連法規並びに地方自治体の基準に従うこと。  
都道府県知事などの許可を受けた産業廃棄物処理業者、もしくは地方公共団体が  
その処理を行っている場合にはそこに委託して処理する。

汚染容器及び包装 : 容器は清浄してリサイクルするか、関連法規並びに地方自治体の基準に従って  
適切な処分を行う。  
空容器を廃棄する場合には、内容物を完全に除去すること。

---

## 14. 輸送上の注意

国連番号 : 該当しない

国連分類 : 対象外

輸送又は輸送手段に対する  
特別の安全対策 : 当該商品を収納した容器が著しく摩擦又は動揺を起こさないように運搬すること。  
直射日光を避け、容器の破損・腐食の無いように積み込み、水ぬれや乱暴な取扱い  
を避け、荷崩れの防止を確実にを行う

---

## 15. 適用法令

消防法 : 非該当

毒劇法 : 非該当

労働安全衛生法 : 非該当

化学物質排出把握管理促進法 : 非該当  
(PRTR 法)

---

## 16. その他の情報

記載内容は情報提供であって、保証するものではありません。

また、注意事項は通常の実施を前提としたものなので、これらを参考にし、自らの責任において用途、用法に  
適した安全対策・適切な処置の実施をお願い致します。

※本書式は、JIS Z7253 : 2019 要求事項に準じて作成しております。